

今こそ地域を考えるとき

えびの市 平山 凌

学校の授業中やニュースで、今の日本は少子高齢化が進んでいるとよく耳にします。年少人口が減り老年人口の割合が増えている。

このことが日本に何をもたらすのか。これまでほとんど考えたことはありませんでした。しかし、調べてみると考えずにはいられないことがわかりました。

一つは、生産年齢人口の減少と労働力の低下が招く経済成長の減速です。あらゆる業界での働き手が不足することにより、これまで日本を発展させ成長させてきた産業が事業継続できない事態が起こってきます。また、高齢者向けの社会保障費が膨れ上がることで若い世代の負担増は免れることはできないでしょう。

特に私の住むえびの市など過疎の進む地域における問題は深刻です。それは、日常の地域の人の声からも分かります。

私の祖父母と父は理容業を営んでいます。お客さんとの話を聞いていると決まって地域の話や景気の話が出てくるそうです。若いものが少ないとか、若者が働ける場所があれば…とぼやくものが多いし、祖父や父もそう話をしているそうです。

若い世代が少なく仕事もない。そうすると、さらに若者がいなくなり負のスパイラルに陥って地域の運営が難しくなっていきます。

このままでいいのでしょうか。
こんな世の中になってしまったのは誰のせいでしょうか。
私たち若い世代は希望をもって生きていけないのでしょうか。

私は、すべて違うと思います。
どこにいても希望を持てる社会を築いていくことこそ大事なことだと思います。

そのためには、様々な社会課題を解決するためにはどうすればいいか、とこと

ん考えることだと思います。行動を起こすことだと思います。
課題を解決に近づけるために自分たちが何をすれば良いのかを考えるのです。
そして考えたことをどのようなことでもいいので形にするための行動を起こす
ことです。

私の通う飯野高校では、全ての生徒が地域課題について考える活動があります。
これは、自分たちの未来を作るための活動だと私は思っています。
他人が作る未来に乗っかるのでは、明るいものは想像できない。
自分で作るものだからこそ希望をもって夢に向かっていくことができる。
そう信じています。
私たちには、社会をも変える力を与えられている。そう思います。
そして、その思いは選挙と言う形でも考えを表現することができます。
選挙権が18歳に引き下げられ昔より若い世代の声が届きやすくなったはずです。
選挙で自分たちの将来を任せることができるような人を選びその人に託す。
これが私たち若者にできるもう一つの大切な行動だと思います。

今起こっている問題を他人事だと思い込まずに、地域や日本の社会について関
心を持ち、考える。
そうすることで私たちの住みやすい町ができる！私はそう確信しています。